

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成26年度 上半期 (4月～9月) の管理運営状況)  
**年間 (4月～3月)**

施設名	萩野センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

分類		年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)
開館日数 (日)		244	268	109.8%
延べ利用者数 (人)		4000	2712	67.8%
自主事業	実施回数 (回)	11	216	1963.6%
	利用者数 (人)	152	1500	986.8%
収入	指定管理料 (円)	13,915,600	13,915,600	100.0%
	利用料金収入 (円)	3,400,000	2,364,700	69.6%
	自主事業収入 (円)	3,888,000	1,096,300	28.2%
収入計 (円)		21,203,600	17,376,600	82.0%
支出	人件費 (円)	10,274,000	11,100,012	108.0%
	維持管理経費 (円)	7,034,000	5,151,875	73.2%
	自主事業関係経費 (円)	2,861,093	2,470,859	86.4%
	その他の支出 (円)	0	0	0.0%
支出計 (円)		20,169,093	18,722,746	92.8%
収支 (収入－支出) (円)		1,034,507	▲ 1,346,146	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)		
<b>【開館日数・利用者数について】</b> 開館日数は計画を上回っている。利用者数は昨年度より増加の傾向がみられる。この状態を維持し、昨年度以上に啓発、広報活動に力を入れていく。	<b>【事業の実施状況について】</b> 通所事業に関して、大人のサロンをイメージした雰囲気や活動内容を改善した結果好評であった。自主事業は利用者のニーズにこたえられる事業を展開できるように努力した。	<b>【収支状況について】</b> 通所事業の収支は増加傾向にある。自主事業に関しては、講座数も増えその時々で利用者の求めているニーズに見合った講座の立ち上げで収支は上向き傾向にある。
所管課の評価 (指摘事項)		
<b>【開館日数・利用者数について】</b> 計画より多く開館され、利用者数は計画よりも下回っているものの昨年度より増加している。今後も引き続き啓発・広報活動を行う必要がある。	<b>【事業の実施状況について】</b> 利用者のニーズに合わせた通所事業内容やげんき応援事業が実施されており、良好である。	<b>【収支状況について】</b> 通所事業・げんき応援事業共に増加傾向にあるが、引き続き指定管理期間中に改善を図る必要がある。

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善	
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善	
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善	
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善	
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善	
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善	
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善	
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善	
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善	
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善	
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善	
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善	
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人	人員配置計画、実地、出勤簿	7人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年	研修マニュアル	実施回数 12回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>萩野センターは利用者の年齢層が若いいため、定期的な体力測定や食事前の口腔体操、課外活動などを取り入れ、介護予防を意識したプログラム構成を検討し提供しました。</p> <p>自主事業(げんき応援事業)では体力維持を図るために運動系のプログラムや男性を対象とした料理教室などが好評でした。</p> <p>センター内の内装や備品の配置も考慮し、「高齢者の施設」としてではなく「地域の集いの場」として活用していただけるよう工夫し今後も改善していきます。</p>
市による所見（指摘事項など）
<p>利用者の年齢層やニーズに合わせた事業実施となっており、利用者数も増加し、市民サービスの向上が図られています。</p> <p>引き続き事業内容等について創意工夫をすると共に、啓発・広報活動を継続し、事業の収支バランスの適正化に努めるようお願いいたします。</p>